

丸の内

1969

—反戦のための万国博—

2019年 7月17日(水) ~ 8月24日(土)



まあ来てください、なんとかなります。
(ベ平連ニュース No.47 1969年8月1日号より)

ハンパク 1969

—反戦のための万国博—

ベトナム反戦運動や日米安全保障条約自動延長反対運動が熱を帯びていた1969年、真夏の大阪で「反戦のための万国博（ハンパク）」が開催されました。翌年に控えた大阪・千里丘陵での日本万国博覧会（大阪万博）に向けて盛り上がる世相に対して、「人類の平和と解放のために」を掲げ、自らの手で反戦と平和の文化を発信しようと、全国から多くの参加者が集まりました。平和を訴える新しい文化の拠点を生み出そうとする試みはそれまでにないイベントで、討論会、フォーク集会、映画上映、展示、パフォーマンスなど5日間に渡って夜通し繰り広げられました。本展では、開催に向けた呼びかけ記事、会場でリアルタイムに発行された「日刊ハンパク」、会場の様子を捉えた貴重な写真などを通してハンパクを振り返ります。

会 期 2019年7月17日（水）～8月24日（土）
 会 場 立命館大学国際平和ミュージアム2階 常設展示室内
 開館時間 9:30～16:30（入館は16:00まで）
 休 館 日 日曜日（ただし8/4・11は開館）、8/12（月）
 見学資料費 大人400円（350円）、中高生300円（250円）、小学生200円（150円）
 ※（ ）内は20名以上の団体料金、地階受付で見学資料費をお支払いください
 ※立命館で学ぶ人・働く人は無料です
 ※7/29～8/4は第39回「平和のための京都の戦争展」開催のため無料です
 主 催 立命館大学国際平和ミュージアム
 企 画 平和教育研究センタープロジェクト研究
 「博物館の資料研究〈戦後社会セクション〉」

関連企画 【トークイベント】ハンパクがもたらしたものの

関西ベ平連を立ち上げ、ハンパクの運営にも携わった山本健治氏に、当時を振り返りながらお話いただきます。

日 時：2019年7月20日（土）13:30～15:00

会 場：立命館大学国際平和ミュージアム2階会議室

参加無料・事前予約不要

※展示をご覧になるには見学資料費が必要です

登壇者：山本 健治氏（フリーライター）

ファシリテーター：番匠 健一氏（平和教育研究センターリサーチャー）



【交通案内】

市バス 12・15・50・51・52・55・59、JRバスにて「立命館大学前」下車、徒歩5分
 市バス 204・205にて「わら天神前」下車、徒歩10分
 ※お車での来館はご注意ください

【問い合わせ】

立命館大学国際平和ミュージアム
 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
 TEL 075-465-8151 FAX 075-465-7899
<https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/>



①



②



③



④

表・裏①～③：「反戦のための万国博」 倉田光一撮影
 裏④：九州大学大学文書館提供 武内俊造撮影